8) 電池は子供の手の届かないところに置いてください。

9) 電池に釘を挿入したり、電池をハンマーで叩いたり、電池を踏んだり、電池に電池を投げたり、他の形の電気ショックを与えないでください。

10) バッテリーを充電コンセントや自動車のシガレット点火器コンセントに接続しないでください。

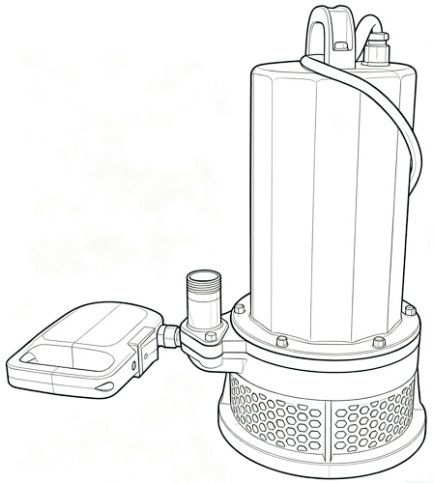
環境を守るをために

環境に優しい方法で製品本体及び付属品を回収ください。
廃棄する際に一般の家庭ゴミと区別する必要があります。
正しい廃棄、処理、再利用、リサイクルのため、指定された回収場所までお持ちください。

水中ポンプ保証書

型番	mt-pumpo3
お客様	お名前 ご住所　〒 お電話番号
お買い上げ日	
保証期間:（お買い上げ日から） 本体一年間	
ご注文番号	

高揚程 DC 水中ポンプ
取扱説明書



このたびは製品をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。 ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく お読みいただき本機の性能を十分ご理解 の上で、適切な取り扱いと保守をしてい ただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださる ようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してくだ さい。

型番：mt-pumpo3

弊社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。弊社は「品質本位、サービス最優先」を経営理念とし、製品の完成度を高めることに尽力しております。本 DC 水中ポンプをご使用中、製品に関するご質問への回答やアフターサービスを継続してご提供いたします。

製品概要

永久磁石式高揚程リチウムバッテリーDC21-24V水中ポンプは、国内外の技術長所を融合し、先進的な製造技術と厳格な検査工程により製品品質を保証しています。各種性能試験の結果、主要技術指標は国内外の同種製品を上回り、現行の国際基準に適合しています。

モータは直巻直流モータを動力源とし、完全なモータ保護装置と専用防水シールを搭載。高品質なエンジニアリングプラスチックとステンレス鋼で製造されています。

本製品の特長：軽量、低消費電力、大流量、錆•腐食に強い、コンパクトな構造、斬新なデザイン、丈夫で耐久性に優れ、メンテナンスが簡単。

本水中ポンプは各種船舶、車両、対応電圧のバッテリーパックと組み合わせて使用可能で、牧畜場•鉱山工場の排水、農作物の干ばつ対策潅漑などに活用でき、軽量で使い勝手の良い吸水器具です。

安全上のご注意

1. 使用前に電源電圧がポンプの定格電圧と一致するか確認してください。許容電圧変動幅は ±5% 以内とし、発電機には接続しないでください。

2. 延長ケーブルを使用する場合は十分な太さの配線を選定し、ケーブルを丸く束ねたまま使用しないでください。

3. 取っ手にロープを掛けてポンプの昇降を行ってください。電源ケーブルで吊り下げ•引き上げをしないでください。

4. 空運転を禁止します。使用中はポンプ全体を水中に完全に浸けてください。使用後は速やかに引き上げ、換気の良い乾燥した場所に保管してください。

5. 汚泥•砂•水草の多い環境で使用する場合は、異物濾過用のケース内にポンプを収め、詰まりを防止してください。

6. 連続運転200時間ごとに分解メンテナンスを実施してください。シール部の点検、整流子に付着したブラシ粉の清掃、ベアリンググリスとカーボンブラシの交換を行います。

7. 電源ケーブルの延長は極力避けてください。バッテリーに配線接続する際は、プラス (+) 極とマイナス (-) 極に十分注意してください。揚水高さが極端に低い場合は、極性の接続を確認してください。

よくある不具合と対処方法

不具合症状	考えられる原因
水が出ない	電源配線の断線または接触不良
	羽根車に異物が詰まって回転しない
	吸水水位が低すぎる
水量が少ない	電圧が低下している
	フィルターまたは羽根車が詰まっている
	ケーブル配線が細すぎる

仕様

型　番	25ZQB300
出　力	300W
電　圧	21-24V
流　量	5m³/h
定格揚程	8m
最大揚程	12m
配 管 径	25mm

各部位部品

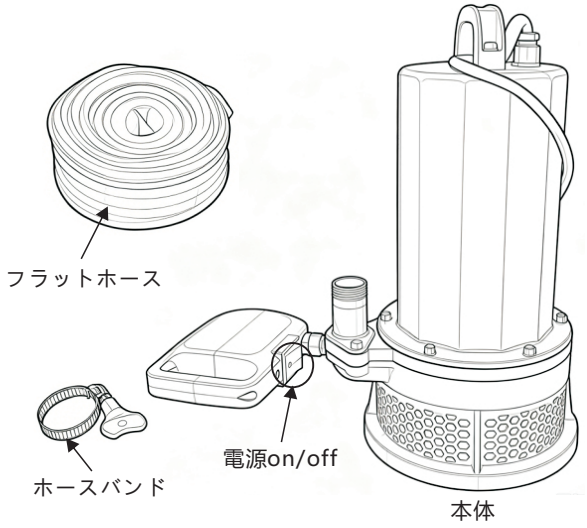


図1

組立手順

1. 水中ポンプ本体とホース継手部品を取り出し、配管組立の準備をします。

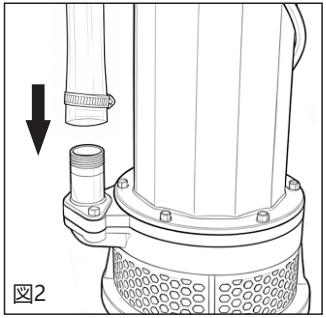


図2

2. ホースバンドを送水ホースの一端に通した後、ホース継手のホース差込部（オスコネクタ）にホースを差し込みます（図3）。

機能説明

⚠ **注意：** 工具の調整または機能点検を行う前に、必ず電源スイッチを切り、バッテリーパックを取り外してください。

バッテリーパックの取り付け•取り外し

⚠ **注意：** バッテリーパックの取り付け • 取り外しを行う前に、必ず電源スイッチを切ってください。

⚠ **注意：** バッテリーパックの取り付け•取り外しの際は、工具とバッテリーパックをしっかり保持してください。工具とバッテリーパックをしっかり保持しなかった場合、手から滑り落ち、工具やバッテリーパックの破損、またはけがの原因となるおそれがあります。

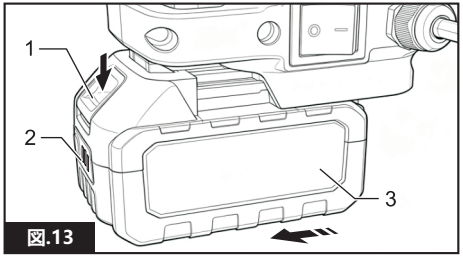


図.13

▶ 1.赤色ボタン
2.インジケーター
3.バッテリーパック

バッテリーパックを取り外すには、パック前面のボタンをスライドさせながら、本体からバッテリーパックをスライドさせてください。
バッテリーパックを取り付けるには、バッテリーパックの凸部を本体の溝に合わせてスライドさせて装着してください。「カチッ」と音がするまで最後まで差し込んでください。図のように赤色インジケーターが見えている場合は、完全にロックされていません。

注意： 赤色インジケーターが見えなくなるまで、必ずバッテリーパックを最後まで確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと、使用中にバッテリーパックが脱落し、自分または周囲の人がけがをする原因となります。

注意： バッテリーパックを無理に取り付けないでください。スムーズに挿入できない場合は、取り付け位置が正しくありません。

電池残量表示

インジケーター付きバッテリーパックのみ対象

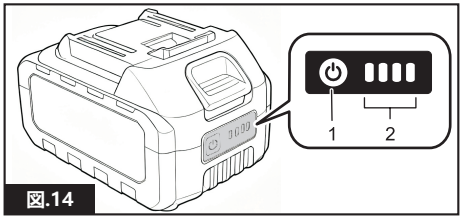
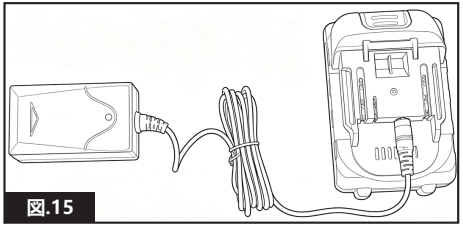


図.14

▶ 1.チェックボタン
2.インジケーターランプ

バッテリー充電です

充電器に接続されたバッテリー。充電器プラグは電源コンセントに接続されている。充電中は、バッテリのLEDランプが赤くなり、バッテリが満充電になると緑色になります。


図.15

注意事項

1) 充電前に、電池電源スイッチがOFF位置にあることを確認してください。充電中に充電器と電池が発熱するのは正常です。
2) もし電池が長期的に使用しないならば、お勧めは3ヶ月ごとに電池に一回充電して、このように電池の使用寿命を保証することができて電力量が低すぎるため影響を受けません。
3) 新しい電池または長い間使用されていない電池では、満容量に達するまでに約5サイクルの充放電サイクルが必要である。
4) フル充電されたバッテリーを数分間使用してから充電しないでください。これはバッテリーの稼働時間と効率を低下させる可能性があります。
5) 破損、変形、腐食、臭い、外観異常のある電池は使用しないでください。充電器と電池を分解しないでください。
6) 電池を高温、熱源の近くに置かないでください。そうしないと、バッテリーが高温熱源に長時間さらされて爆発したり、火災になったりします。
7) 屋外や湿気の多い環境で電池を充電しないでください。湿った環境に電池を保管しないでください。